

事例から学ぶため池改修（補修・補強）設計研修会（実務実践研修）プログラム

—— 実務実践研修で実務経験をプラスする ——

講師：伊藤 純仁 氏

- ・所属：株式会社日設コンサルタント 代表取締役
- ・資格：技術士（総合技術監理部門、農業部門）、農業土木技術管理士、一級土木施工管理技士、畑地かんがい技士、測量士、第2種情報処理、第2種下水道検定
- ・実績：老朽ため池に関する調査、計画、実施設計及び施工監理
老朽ため池に関する技術士会等での講師多数

[1日目]

1. 概 説 10:30～11:00

- ため池の概要 （ 歴史、現状、文化財、今後の展望 ）
- ため池の定義 （ 設計基準、基準の変遷、各県における基準 ）

2. 近年のため池被災事例 11:00～12:00

- 不可抗力に起因する事例 （ 老朽化、異常気象 ）
- 人為的なミスに起因する事例 （ 設計、施工監理 ）

3. ため池の構造についての基礎知識 13:00～16:50(適宜 20 分休憩)

- 土質関係の基礎知識 （ 土質の考え方、室内土質試験結果の読み方 ）
- ため池の構造 （ 基礎処理、堤体、洪水吐、斜樋、底樋、土砂吐、法面保護工 ）
- 各種堤体改修工法 （ 前刃金工法、グラウト工法、シート工法、プランケット工法 ）

[2日目]

4. 堤体設計の考え方 9:50～10:40

- ボーリング調査結果の理解 （ 地質図の判断、堤体基礎地盤、現場透水試験値 ）
- 耐震を考慮した設計事例 （ レベルⅡの解析事例 ）

5. 洪水量算出・各施設の考え方 10:50～11:50

- 設計洪水量の算出 （ 確率の考え方、アメダス利用、採用降雨 ）
- 各構造物の考え方 （ 堤体、洪水吐、斜樋、底樋、土砂吐、法面保護工 ）

6. 施工監理における留意点 11:50～12:20

- 施工管理 （ 刃金土、翰土、グラウト ）
- 各構造物の管理 （ 洪水吐、斜樋、底樋、土砂吐 ）

7. 新工法 13:20～14:20

- 設計における新工法 （ 底樋管更生、堤体・洪水吐切下げ、リサイクル刃金土 ）
- 機器利用による調査 （ 堤体電気探査、底樋管内撮影用カメラ、ドローン ）

8. 演習 14:20～16:50(適宜 20 分休憩)

- 基礎資料、写真等の配付、堤体標準断面の検討
- 設計結果発表と質疑応答
- 老朽ため池計画・設計に関するQ&A

事前にQ（質問）のアンケートを実施いたします。

◆業務予定などの都合による参加者交代は可能です。

◆この研修会は全国測量設計業協会CPD認定講習会(10ポイント)です。(一社)全国土木施工管理技士会連合会、建設系CPD連絡協議会に所属する(一社)建設コンサルタンツ協会、(公社)農業農村工学会等で研修会を受講した旨の申請ができます。